

 令和 7 年度 7 月号	学校通信 にわだに	《学校教育目標》 自ら学ぶ意欲と主体的に 探究できる子どもの育成 堺市立上神谷小学校 堺市南区片蔵 1 4 2 5 番地 Tel 072-297-0028 Fax 072-297-2002 http://www.sakai.ed.jp/niwadani-e
--	---------------------------	---

「いのちの尊さについて考える」

令和 7 年（2025 年）は、先の大戦から 80 年の節目の年となります。あらためて過去の戦災を振り返り、平和な社会を実現する責務が私たちにはあります。

先日、「平和を考える日」として体育館で全校朝礼を行いました。以下のような内容を児童向けに、平和教育担当教諭とともに伝えました。

今もなお世界中で多くの紛争が継続しています。また、先の大戦に焦点を当てると、堺市は隣接する大阪市と軍需生産上、密接な関係があり一大軍需工業都市となっていました。また、大阪市の軍需工場労働者に住宅を提供していたことなどから、昭和 20（1945）年 3 月 13 日から、6 月（2 回）、7 月（堺大空襲）、8 月の五次にわたり空襲（焼夷弾・爆弾・機銃掃射等）を受け、死傷者約 3 千人、建物の全焼（壊）半焼（壊）は約 1 万 9 千戸、罹災者 7 万人を超える人的、物的に大きな被害を被りました。特に、昭和 20（1945）年 7 月 10 日の堺大空襲では、罹災した面積は約 22 万 6 千坪に達し、旧市内の 62%に相当する面積が焦土と化し 1,860 人の命が奪われました。

戦時下では、食糧はほとんど全面的に配給制下におかれ、その配給すら満足になされなくなりました。衣料・燃料・日用品なども不足し、娯楽や休息の機会も奪われ、市民は耐乏生活を送りました。そして遂には飢餓状態にさえ陥いることになりました。また、昭和 20（1945）年春以降には、約 3,500 人の児童が親もとを離れ学童の集団疎開が行われました。

※出典 総務省 HP 堺市 HP

「平和を考える日」を通して、戦争の悲惨さについて子どもたちは重く受け止め、「いのちの尊さ」について深く考える機会になったのではないのでしょうか。子どもたちには「平和を考える日」に考えた「いのちの尊さ」を心に持ち続け、普段の生活でも周囲の人を大切にしよう伝えていきます。

また、堺市では7月12日は「0157 堺市学童集団下痢症を忘れない日」としています。平成8年（1996年）7月、学校給食に起因する腸管出血性大腸菌 0157 による堺市学童集団下痢症が発生し、児童 7,892 人を含む 9,523 人の方々が罹患し後遺症を含め 4 人の尊い命を失いました。

7 月から 8 月にかけて、「いのち」について考える報道や企画等を目にする機会が多くなるかと思います。ご家庭でも、ぜひこの機会を利用し、「いのちの尊さ」についてお子さまとお話していただければと思います。

● 堺市一斉登校指導

7月2日（水） 7時40分頃から

「子どもを守る大人のスクラムづくり」の一環として、市立全小・中学校一斉登校指導を実施します。子どもたちの登校時に、「ながら見守り」でも結構ですので、登校のようすの見守りや通学路の安全確認などをお願いします。

● 熱中症対策について

連日、気温の高い日が続いています。暑さ指数（WBGT）も 31（すべての生活活動で熱中症おこる危険性がある）を超える日が多くなると予想されます。

学校では、暑さ指数をもとに学校活動の制限や中止をしています。こまめな水分補給等も声かけをしていますので、ご家庭でも十分な水分をお子さまに持たせていただきますようお願いします。

登下校時の熱中症対策として、「日傘」や「冷却用タオル」などを活用していただいてもかまいません。

ご理解・ご協力をお願いします。

● 期末懇談会について

7月9日（水）～11日（金）の3日間、期末懇談会を実施します。

おひとり 10 分程度の短時間とはなりますが、お子さまの 1 学期のがんばりやようすをお伝えします。お忙しい中とは思いますが、よろしくお願いします。